

### 第13話 ホテルでのお楽しみ

デリーでのホテルステイで楽しかったのはヘアーサロンで足の裏の角質を取ってもらうことでした。ゆったりとしたソファーに座って待っていると剃刀やヤスリの入った道具箱を持った寡黙な老人が現れ、まず両足をぬるま湯に漬けてから丁寧に角質をとっていきます。この老人はこれが専門のようで頭の方はやらないというか触らせてもらえないようです。(これもカーストの名残のようです)最後のオイルマッサージが終わり、靴下まではかせてもらい立ち上がったなら何と生まれて初めて地面を踏んだ感触なのです。赤ちゃんのプヨプヨした足の裏を取り戻したのです。感激して老人にチップをあげたのですが、受付で会計をしたらこれがチップとあまり変わらない金額だったのでまたびっくり、どうりでさっき老人の周りにスタッフが集まってチップの額を聞いていたようで、『イイナー』という皆の気配が確かにありました。

ところでチップですがこの渡し方がなかなか難しいのです。この店でインド人のお金持ちがチップを渡すところを見たことがあるのですが、実に優雅な身のこなしでした。渡す相手とすれ違いざまにスッとあげるのが何とも自然でした。僕なんかチップをあげますよという意識が顔に出てしまい、優雅さとは程遠い感じであります。

写真はいつも足の角質ばかりではと思い、顔の角質をとって貰っているところというのは冗談でいわゆるバックですがなにやらゾンビのようですネ。

